

# 群馬菱の実会だより

## 第26回(冬季) グラウンドゴルフ大会を2月25日に開催

### 茂木 忠さん優勝

梅の香りが漂い、春本番のような陽気の中、38人の参加をいただきグラウンドゴルフ大会が恒例の利根グラウンドゴルフ場で盛大に開催をされました。前大会から成績集計に活用

を始めたパソコンですがプログラムにミスがあり、集計に一部誤りが発生致しました。

お詫びいたします。成績表は修正後の内容になって

ています。

順位	氏名	H D	スコア	1打	2打
優勝	茂木 忠	5	53	2	14
準優勝	小山 豊子		57	2	9
3位	長嶺 元	4	62	2	7
4位	岩瀬 求馬		63	2	5
5位	岩田 尚之		64	1	7
6位	田部井秀夫	5	65	1	9
7位	長谷川錦一	2	66	1	8
8位	伊沢昭一郎		66	1	6
9位	祖父江常雄	1	66	1	6
10位	江田 和子		67	1	8



優勝者の茂木 忠さん(右)



大変お疲れさまでした

### 平成14年度・群馬菱の実会「総会と懇親会」の開催予告

毎年恒例になっています群馬菱の実会「総会と懇親会」を、下記の内容で開催いたします。詳細につきましては4月号でご案内致します。

期日：4月19日（金）、集合時間：14時頃を予定  
場所：総会はゲストホール、懇親会は食堂2階

## 会員投稿 『祖父江』姓について 新田町 祖父江常雄

我が家は祖父の代に、名古屋市の北西に位置する、愛知県中島郡祖父江町より名古屋市内へ転居し、昭和三十四年私が群馬県新田郡尾島町へ転勤するまで居住していた。

名古屋市周辺には「祖父江」姓の家も、会社名の看板も多かったので、それほど珍しい姓とは思わず、たまたま東京へ出張の折名刺を交換すると珍らしげに見たり、何とお呼びするのかと、聞かれる事もあったが気に止める程のことでもなかった。然し、尾島町の社宅に住み、その後新田町へ転居、平成一年にリタイヤして地域社会の方々との付合が多くなると、会う人毎に珍しい姓ですね、どちらの方ですか………が初対面の冒頭の挨拶となると、気にもしないでいた「祖父江」姓のルーツについて調べ、群馬で生れ、育ち、文字通り上州子である子供、孫に「祖父江氏」の歴史を残す必要があると考え、調査を始めた。

今回提示する資料は、関係記録を引き写したままで、読解、関連付け、など突込んだ調査までに至っていない、素資料の列記に過ぎません。たまたま、私が入会している古文書同好会の発足十五周年記念誌に投稿する為、まとめたもので「菱の実会だより」には、そぐわない内容と思いましたが埋め草代りにはなるかと思い提出しました。

### 一、我家の伝承

祖父より、我家の先祖は「祖父江ほうさい」と言う武士である、と聞いている。

### 二、姓氏、家系大辞典 太田 亮（角川書店版）

祖父江

#### ①尾張の祖父江氏

中島郡、祖父江邑より起りし氏にして“張州府志”“尾張志”等に據るに「祖父江城（上祖父江村）は“井野藏人”住いしといひ伝へたり」と載せ、而して、「西島城（西島村）は“祖父江五郎左衛門”が居城」といひ、「竹越城（竹腰村）は、“祖父江大膳”住いし由」といひ伝う。“祖父江五郎左衛門”は信雄、従士也。又、愛知郡にも存し、又、海部郡の人に“祖父江彈正正成”あり。

② 藤原氏、徳川家臣にして「先祖、加治田、或は、松永と称す、後、外家祖父江を冒す」家紋は、五本骨三扇、丸に扇地紙、桔梗にして「作左衛門正忠（久左衛門、初め吉隆）一孫太夫正親（藤兵衛）一作左衛門正秀（太五郎主馬）一正張一正曉」と、寛政系譜に見ゆ。

#### ③ 雜載

高知、山内藩、重臣に此の氏あり、又鯖江藩に“祖父江恭助”。美濃にも存す。

### 三、日本の苗字、読み解き辞典 丹羽基二（柏書房）

そぶえ…そぼえ

水のある金鏡の浮いているところに由来。

祖父江という苗字は、全国で七千人程居り、多くは東海地方に見られる。それというのも、愛知県中島郡祖父江町のほか、岐阜県養老郡養老町、同県本巣郡穂積町にも、祖父江の地名はある。尚「寛政重修諸家譜」を見るに、ここから藤原氏流の徳川氏家臣が出ている。また“張州府志”“尾張志”などでは、祖父江城（現祖父江町）根據として活躍した、祖父江一族がいたことがわかる。

## 四、大日本地名辞典 吉田東伍（富山房）

祖父江古城址一下祖父江村に在り、始め“祖父江五郎左衛門尉久豊”ここに住せしが永禄の頃、同郡竹腰村へうつり、其子息、孫九郎信勝、居住して、大膳、又、芳斎、と号し、福島正則に随身し、慶長年中、家断絶せり。

## 五、文化武鑑（文化五年～八年） 大名編

山内氏一本国、尾張、石高二十四万石二千石。

松平土佐守豊興。主な家臣。「御城使」祖父江十右衛門

六、祖父江町、及び、その周辺で“祖父江”の地名（大字、小字など）を有する市町村の郷土史を調査。

## ①祖父江町史

第3節、祖父江を領知した、中世の土豪“祖父江氏”

室町中期、知多の荒尾氏について尾張第二位の土豪、中島氏とともに、戦国時代になると、幕府の庇護がうけられず（幕府弱体化）、新しい守護大名勃興によって勢力を失った、この国人、国衆といわれる連中を組織化して家臣団を作りあげたのが信長であり、秀吉であった。中島氏に代って祖父江を領知したのは、祖父江氏である。この祖父江氏については、近世尾張の野史類が伝える、“祖父江五郎左衛門久豊”系。津島神社所蔵文書にある“祖父江五郎右衛門秀重”系。があり、この両系統が同一のものか、まったく関連がないものか、現在までの研究では明らかにできない。

## “五郎左衛門久豊系”

伊勢国司、北畠大納言の家臣、白石城主、富田左近太夫の子、五郎左衛門久豊が、祖父江へ来て信長に属し、住地の祖父江を号した。又、“濃陽祖父江村記”によると、伊勢安濃津城主、平勝元の弟と記してあるが、祖父江氏の出自を裏付ける資料はない。五郎左衛門久豊は、信長に属し、祖父江地方に住していたと思われる。“尾張志”所引の“人物志”には、祖父江五郎左衛門、中島郡祖父江村の人、とうたってある。又、“信雄郷從士分限帖”に千貫、祖父江五郎右衛門と記し、左、右、何れをよしとも定め難い。

五郎左衛門久豊一孫九郎信勝（芳斎大膳亮と号す）祖父江を領す、祖父江城跡あり。永禄年間（一五五八～六九）中島郡竹腰村へ所替、古城址あり。

西島村（現稲沢市）恵日寺は、明応九年（一五〇〇）久豊の再建以来、祖父江氏の菩提寺、西島城址あり（恵日寺域）、信勝も居住したとの里伝。

## “五郎右衛門秀重系”

“張州雑誌”卷六十六“津島神職系譜”によれば、祖父江家は、津島神社、神楽家の、満太夫に発し（応永二十三年申年の遷宮帖による）子孫、祖父江光太夫秀長は弟、勝次郎秀治と共に、亨禄の頃神職として在職、織田信秀に仕え、天文元年、秀治は大膳亮に任せられ、五百貫の知行を得るも、天文十二年戦死。跡職は、秀治の孫（娘の子供）祖父江五郎右衛門秀重が継ぐ。秀重は、大永四年頃生れ、織田信秀より、幼名“金法師”を賜り、信長に仕え天文十九年に、祖父江大膳亮秀治の名跡を継ぐ。信長死後その孫、三法師を擁立し主家存続に努力、天文十三年十月六十二才で病死。長男、次男孫丸共に戦死。末娘が、秀重の遺物を携え、津島神社、水室神主の弟に嫁す。（次号へ続く）

## ◆おしらせ◆

**1. 第3回囲碁大会**

◎期日：3月18日（月） 9：30～ ◎会場：赤城俱楽部

参加の申込みは伊沢（52-2329）3月13日まで、会費は1,500円

◎講習会：3月13日（水）、27（水） 9：30～ ◎会場：赤城俱楽部

*出席以降、育成、日本*

**2. 3月の麻雀会**

◎日時：3月20日（水）10：30～17：00 ◎会場：赤城俱楽部

◎申込：3月18日（月）迄、長嶺(38-0685)、小此木(56-0512) ◎会費：2,000円

**3. 3月のグラウンドゴルフ月例会**

◎日時：3月25日（月）9：30～ ◎会場：利根グラウンドゴルフ場

**4. パソコンサークル**

◎日時：4月1日（月）14：00～16：00

◎会場：労組事務所

**5. 4月のカラオケ月例会**

◎日時：4月1日（月）17：00～

◎会場：睦荘YOU遊ホール

◎申込：愛好会役員（長嶺 元さん Tel0276-38-0685）3月27日（水）までに申込み

**6. 次回の編集委員会・幹事会（会場：組合会議室）**

◎編集委員会 3月25日（月） 11：00～

◎幹事会 4月 1日（月） 16：00～

なお、都合の悪い場合は事務局まで連絡をお願い致します。

**編集後記**

◎そろそろ花粉シーズン到来（花粉情報協会報）今年の予測飛散量は、昨年よりは少ないと見られるが、地域によっては平年並か、やや多めのところもある。マスク、メガネは外出時の必需品、自分にあった対策でのりきろう。

◎21世紀最初の五輪ソルトレーキ大会は冬季五輪史上で最多の78ヶ国の参加も、審判の判定に対する不信に「不信五輪」「抗議五輪」となったが、17日間の夜長を楽しむ事が出来た。なお今後の過ごし方を考えねば？

（村岡記）